



校訓～つよく かしこく
なかよく あかるく～



キャラキャラ 笑顔

今年も残り少なくなりました

12月中旬を過ぎ、今年も残り少なくなっていました。学校では、学校運営協議会の皆さんのが作られる門松作りのことが話題になっていました。1年間あっという間に過ぎた気がします。学校では大きな事故等もなく学校生活を送ることができました。地域の皆さん、保護者の皆さんのご協力のおかげです。

今年1年たいへんお世話になりました。
来年もよろしくお願ひします。

6年生 平和について考える

12月17日（水）に元梅林小校長の松村誠一先生と浦田藤枝さん（96歳）に平和について講話をいただきました。松村先生には、15年続いた戦争について、浦田さんは、自分の体験を交えたお話をもらいました。「平和は、みんなでつかみ取るもの。平和のバトンを引き継いで欲しい」という言葉を子供たちはしっかりと受け止めていました。



第2回フラワープロジェクト実施 「パートナー校」としても認定

12月5日（金）に新玉名駅へ、11日（木）には、県北病院へ、環境・ボランティア委員会の子供たちが、学校運営協議会の皆さんと一緒に、プランターの花10ケースを届けました。このフラワープロジェクトは、

玉陵小・中学校合同の取り組みで、7月に引き続き2回目になります。



また、この取り組みに対して九州旅客鉄道株式会社より「パートナー校」としても認定され、今後も新玉名駅および沿線のにぎわいづくりを継続していくことになりました。これからも地域を愛し、地域から愛され、そして地域とともにある学校を目指していきたいと考えています。



玉陵小・中学校

保健委員会講演会

11月28日(金) AGI 日本総合研究所代表の元田暁輝様による「子供の力を引き出すコーチングマインド」の講演会を実施しました。保護者の皆様からたくさんの感想をいただきました。一部を紹介します。

「具体的な言葉かけの仕方を教えてもらったので早々実践したいと思った」「娘とのかかわり方ややる気を出させるにはと悩んでいました『やる気をなくす親』にすべて当てはまっていてハッとした」「言葉かけが子供にとってどのように影響するのか改めて考えさせられました」「自尊心とパフォーマンスは比例するという言葉がとても心に残りました」



講演内容:「伸びる子供の育て方」として、「自尊心とパフォーマンスは比例する」ということです。自尊心を高めるためには「つながり」(他者とつながり受け入れられる感覚)「有能感」(何かを達成したり、上手にできたりという感覚)「自立性」(自分の行動を決めて行わせる)の3つを育てることだそうです。子供の自尊心を高めるためには、失敗したときに「どうしてうまくいかなかったの」より「どうすればうまくいくと思う」。「何か嫌なことはなかった」より「今日は、どんな良いことがあった」と聞くこと。また、「能力ではなく努力を」「成果ではなく過程を」認めてことで、自尊心が高まり、学び方や生き方は急速に伸びていくそうです。子供たちの成長のために家庭でも実践してみてはいかがでしょうか。

力を出し切った持久走大会

12月9日(火)、校内持久走大会を実施しました。子供たちは朝のランニングや体育の時間、家での自主練習などに取り組み、本番に臨みました。それぞれが目標タイムや自己新記録、大会新記録を目指して最後まで粘り強く走り切りました。「持久走」という心身ともに鍛えられる競技を通して、子供たちも成長したと思います。



保護者・PTA役員及び交通安全協会、学校運営協議会の方々には、応援・大会運営にご協力いただき、感謝申し上げます。今回、コースの変更をしたため、各学年の1位が大会記録及び新記録となりました。

年末・年始 日本の文化を体験する機会に

令和7年(巳年)も終わり、令和8年(午年)になります。年末には、家中を大掃除し、家庭での餅つき、正月には、凧あげやかるた、トランプ、縄跳び等をして、退屈な時間を過ごしていました。時代が変わり、年末年始の過ごし方も変わってきましたが、各地区では、まだまだ伝統が残っています。児童が、日本の文化を体験できる機会になるといいなと思います。

児童の見守り活動大変お世話になりました。

今年度も、登下校において大きな事故やけがもありませんでした。各地区での見守り、登校場所での交通指導等のおかげです。感謝いたします。元玉名区の見守りの皆様、長い間児童を見守っていただきありがとうございました。感謝申し上げます。来年は、1月8日から、学校が始まります。